

矢作川流域圏懇談会「第6回川部会WG（家下川モデル3回）」開催報告

1. 実施概要

(1)実施概要

○実施日時：平成24年10月26日(金)
13:00 ～ 17:00

○開催場所：

【集合場所・WG会場】

豊田市生涯学習センター末野原交流館
会議室

○参加者：20名（事務局含む）

(2)内容

【プログラム】

1. 開会・あいさつ
2. 前回までの振り返りと本日の進め方について
3. 情報提供と質疑応答
 - ・家下川、承水溝、柳川瀬公園周辺の地下水位について（豊田市）
 - ・家下川、承水溝、柳川瀬公園周辺の洪水時の管理について（国交省、愛知県、豊田市）
 - ・家下川における活動の近況（矢作川水族館）
4. 意見交換
 - ・家下川の現状と課題について
 - ・家下川モデルの取りまとめについて
 - ・WGの今後の活動について



情報提供の様子



グループワークの様子

2. 主な会議内容

第6回川部会WG（家下川モデル3回）では、情報提供とグループワークにより、家下川の課題と解決策（アイデア）について、意見交換、情報共有を行なった。WGで話し合われた内容は以下のとおりである。

- 管理者、活動団体からの情報提供で、前回情報不足であった家下川周辺の地下水位、洪水時の管理等について情報共有がなされた。
- また、グループワークでは、2グループに分かれて、家下川の課題と解決策について意見交換を行ない、様々なアイデアの共有がなされた。
- 家下川の流量の情報については、国交省と愛知県で確認することとする。
- 今後、家下川モデルについては、愛知県の管理者としての積極的な参画が望まれる。
- 次回は、本川モデル、家下川モデルの意見交換を行い、次年度以降の議論の土台（枠組み）を作ることにする。

Aグループの課題と解決策(アイデア)の整理

ポイント1:情報不足

【生息生物について】

- どんな魚がいるの？
- どんな魚がほしいのか？
→ だいたいカバー
- 本川(カワムツいない)
- 魚の棲みやすい川づくりの指標をなににするのか？
・ 魚・・・なに
・ 虫・・・水中の虫の数？
・ 水の量、質？
市史など

【水について】

- 水質の推移、現状
- 水位、流量
- 下水(今流入しても整備で減るかも)

【住民の要望について】

- 家下川周辺住民の川に求めるもの(水路)
- 周辺住民へのアンケート
- 情報不足
- 住民が家下川に何を求めているのか

ポイント2:生き物の移動障害

【矢作川と家下川の段差について】

- 矢作川と家下川の高低差
- 矢作川と家下川の高低差を表面水を確保しながら段差を小さくする構造とする

【管理境界の段差について】

- 各管理者ごとの移動障害となる、段差などの位置。

【水田魚道について】

- 水田魚道
- 水路の水位を上げる

【承水溝について】

- 水位高低差をゲートのコントロールだけで可能か、床面の掘削も必要かどうか。

ポイント3:生き物の棲みかの不足

【魚のすみかについて】

- 魚の種類
- 春、夏、秋、冬
- 産卵場所

【水路マスについて】

- 水路マス設置箇所
- 必要量がどれだけか？
- 設置した状況を調査し適宜必要量を増加させる。

【その他について】

- 棲みかをスポットでしか整備できない現状で、全体案への影響の有無。
- モニタリング

【水田魚道の設置について】

- 水田魚道の設置や土砂植生設置促進の足かせとなることは？

ポイント4:水量不足

【水量について】

- 灌漑期と非灌漑期の排水路水路の違い・・・
- 用水取水位置と排水路網図(非灌漑期に一定排水路へ水を集中出来るか)
- 絞り込み

ポイント5:その他の視点

【親水性について】

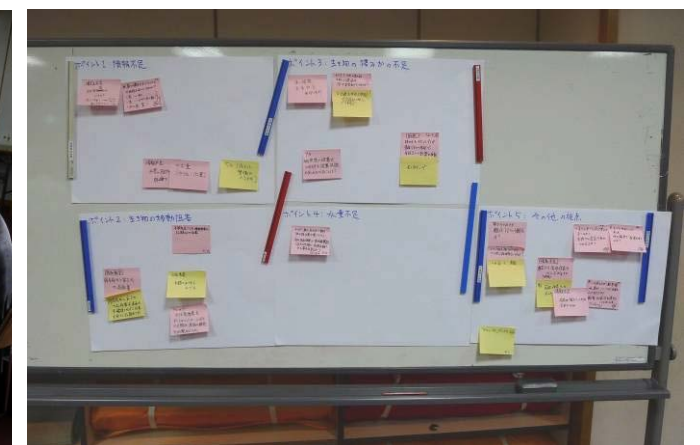
- 矢作川における親水性という観点は？
- 子どもの遊び場(矢作川本川)
- 子どもの安全確保をどうするか？

【モデル地区のあり方について】

- 支川と本川と同じ考えでよいのか？
- 矢作川の各支川につかえるか？
- モデル地区としてのあり方
- 他の場所で参考になるのか？
- この考え方が、数年後も続けていくことが出来るのであろうか？
- 教育→状況を続けることを教える。(持続性)



Aグループのワークの状況



Aグループのワークの成果

Bグループの課題と解決策(アイデア)の整理

ポイント1:情報不足

【 について】

- 施設改築の可能性の程度

【 について】

- 管理者区分
- 施設に関する窓口

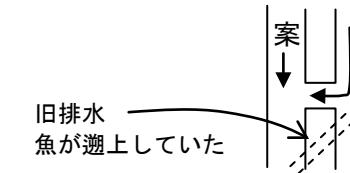
ポイント2:生き物の移動阻害

【矢作川本川-家下川の段差について】

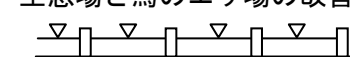
- 本川支川の矢板の処理①②案の提案について
- 他の方法はないか
- 本川、支川の矢板の処理について
→矢板を全部抜いたらどうか
- 本川から魚が遡上出来ない。
- 家下川の段差(下流端)の魚の移動阻害改善の方法生は？

【家下川-承水溝-ひょうたん池の段差について】

- ひょうたん池と承水溝の水門はつかわれていない。段差をとってしまったらどうか。
- 家下川と承水溝の水門は急角度すぎる。昔ように斜めにできないか。



【中大排水路について】

- 中大排水路の冬期に一定区間毎に柵板を設置して、魚等の生息場と鳥のエサ場の改善。

- 中大排水路等にメダカなどの生息環境を作り、「メダカが生きる田で取れた米」ブランドを作って、農業者として販売し、その数%を環境へ
- 水田魚道を多く作り田んぼを魚の産卵場として使う。

ポイント3:生き物の棲みかの不足

【河床材について】

- 砂、砂利を敷くときの流失しにくい配置があるのではないか？
- 鷺見先生に計算してもらえないかもしれない？
- 底は少し大き目の砂なら動かない!!計算しよう。

$$\frac{hi}{Sd60} \leq 0.05$$

【用水路の河床について】

- 用水路の底は何故コンクリートをはるのか？
- 農民に理解してもらおう(水路の草など)
- 西大排水路の河床を魚類等の種から、何m程度にめくるかなどを検討したらどうか。

【承水溝の河床について】

- 承水溝の浚渫を行い、冬越しの場所をつくる。大水時。
- ポンプの力を使って掘れるよう、水制があってもよいかも。
- 承水溝の池干しをして、魚をつかまえ、底がコンクリートか確かめる。

【家下川の川の多様性について】

- 家下川の川中の変化、川幅が広すぎないか。草は多いか。
- 家下川全川において河川環境のあるべきすがたを絵にしたらどうか。中間の市民整備を基本に。
- 瀬を作る
- 家下川に変化をつける
- 家下川の上流の河床を低下させる。

ポイント4:水量不足

【水量不足について】

- ひょうたん池の水不足
- 宗定川の水量不足
- 冬場の農業用水に水がない。
- 冬は排水路に水ない(流れる必要?有)本案
- 柳川瀬公園ひょうたん池の水源として、運動場のトイレ手洗水の導水や、宗定川の水を水車や小水力発電を伴う水揚げにより、ひょうたん池へ導水は？
- 冬にたんぼと排水路に水をためる。

【地下水について】

- 家下川の地下水位の情報
→地下水等の正確の最新データの把握
- 豊田市史のための地下水調査のデータはどうなった？
- 家下川の地下水位の情報
→現地での実測(穴を掘って地下水の確認)数地点

【矢作川本川の水位について】

- 矢作川本川の水位低下を抑えるために中州などの樹木を切って、上昇を抑えたらどうか？

ポイント5:その他の視点

【市民参加について】

- 矢作川本川の小規模の流れをつくり、川全体が市民に理解される事が必要では？

【愛知県の役割について】

- 家下川については、県が事務局を担当する。

【市民参加について】

- これから作る予定の「越冬マス設置」で、子供の低学年児、幼稚園児が、中に入れる安全を考えたマスを作るのは？
- 親子で参加する事を前提にして観察会を行う。子育て中の親の参加。
- 西大排水路は安全
- 有効的に環境教育に活用

【景観について】

- 田園風景としての水路景観が欲しい。
- 家下川は、魚だけでなく景観も考えなくてはならない。

【川の多様性について】

- 草がはえずぎ。
- 深みが少ない。



Bグループのワークの状況



Bグループのワークの成果

矢作川流域圏懇談会 地域部会 第6回 川部会 WG(家下川モデル3回)
振り返りアンケートまとめ

■参加してよかったと思うこと

- ・ 話が少し分かった所があった。
- ・ 川の問題は複雑ですが、いろいろな知見を持った人で議論し、整理していけば必ず解決策が出てくると思いました。
- ・ 家下川・ひょうたん池の関連が理解できた。水路の越冬マスの新設置が行われるということですが、田んぼの本来の姿に戻ることが重要だと理解できたこと。
- ・ グループ討議で自分の心配している項目について、意見が出せた。
- ・ 家下川の問題と課題が理解できた。
- ・ 小グループでの議論は、いろいろな提案が出て、意見の違いも出てよかった。

■よくなかったと思うこと

- ・ 時間が少なかったかな？
- ・ 家下川の大きな図面を準備して、広げて話をするとよいと思います。(たたみ数枚分の大きさの)
- ・ 参加者が少なく、多くの市民が参加してほしい。
- ・ パワーポイント等で、地図や資料を映しながら、議論をしてもらうとわかりやすい。
- ・ 資料3に、今日の議論を組み入れる作業を大枠だけでも皆でやった方がよかった。

■家下川モデルで、今後取り組んでいきたい課題・活動(今日、言い残したこと)

- ・ 環境教育に結び付けて、幼稚園児と共に親の学びの場になっていくことを望みます。
- ・ 夏丸さんはすごい。今の状態では、家下川WGは夏丸さんたち(家下川リバーキーパーズ)の数分の1も働いていない。家下川リバーキーパーズが動きやすいように助けるのを、家下川WGの目的にしてもいいくらいだと思う。

■地先モデル(12月14日開催予定)で、紹介したい場所や皆で検討したい課題

- ・ (個人的に)時間をつくり、ぜひ参加したいと思っています。
- ・